



平成28年3月期 第2四半期決算説明資料

株式会社ユニカフエ(東証一部:2597)

自 平成27年4月 1日
至 平成27年9月30日

I.	外部環境	3
II.	平成28年3月期第2四半期 決算概況	5
III.	平成28年3月期第2四半期 決算詳細	9
IV.	平成28年3月期下期の事業環境・取り組み	14
V.	参考資料	19

I. 外部環境



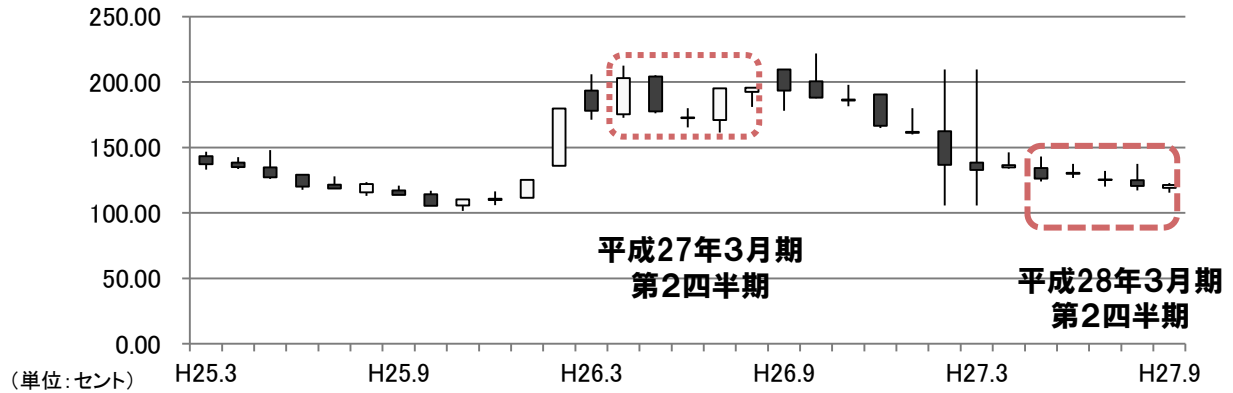
NYコーヒー相場 (¢/ポンド)

●平成27年3月期 第2四半期

始値 170.95 ¢
 高値 209.45 ¢
 安値 161.40 ¢
 終値 193.30 ¢

●平成28年3月期 第2四半期

始値 134.85 ¢
 高値 146.20 ¢
 安値 124.05 ¢
 終値 130.65 ¢



始値
 高値
 安値
 終値

<コーヒー相場のトピックス>

- ・米金融引き締めの上昇期待から、ドル高、新興国通貨安の流れとなり、コーヒー相場には下落の圧力がかかった。
- ・ブラジルのソブリン格付が投資不適格レベルまで格下げされ1ドル=4.2リアルまで進んだがそのあと回復。コーヒー相場はリアル相場に連動。
- ・ブラジルの収穫において、小粒豆が多い影響から歩留りが悪いとの懸念が発生。
- ・ドル高、中国経済金融不安が重なりコモディティ市場への圧力が続いた。CRBコモディティ指数は年初より14パーセント下落。

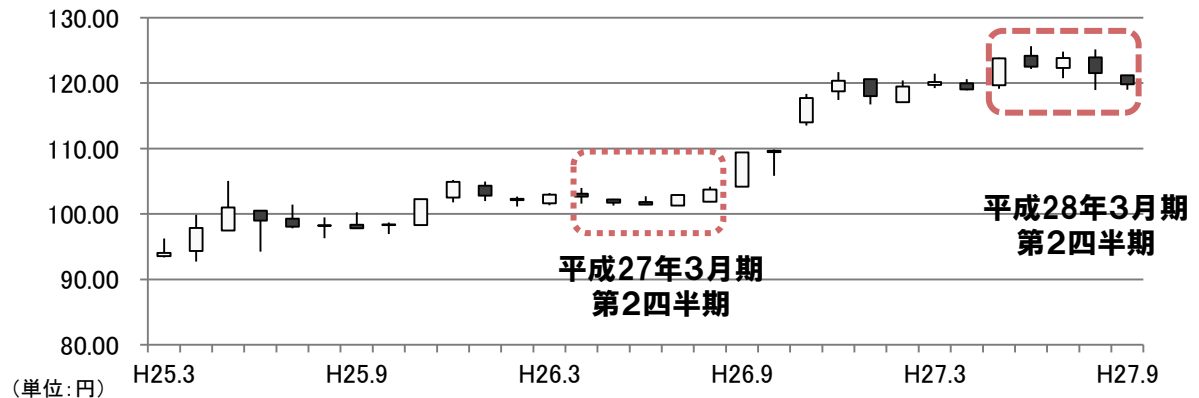
為替相場 (\$/¥)

●平成27年3月期 第2四半期

始値 101.27円
 高値 109.41円
 安値 101.27円
 終値 109.41円

●平成28年3月期 第2四半期

始値 119.94円
 高値 125.63円
 安値 118.86円
 終値 122.50円



始値
 高値
 安値
 終値

II. 平成28年3月期 第2四半期決算概況



(単位:百万円)

		平成27年 3月期	平成28年 3月期 第2四半期	増減額	増減率
資産の部	流動資産	5,021	5,508	486	9.7%
	固定資産	5,082	4,823	△258	△5.1%
資産合計		10,103	10,332	228	2.3%
負債の部	流動負債	2,648	2,825	176	6.7%
	固定負債	79	55	△23	△29.6%
	負債合計	2,727	2,881	153	5.6%
純資産の部	株主資本	7,142	7,257	114	1.6%
	その他の包括利益累計額合計	233	193	△39	△16.8%
	純資産合計	7,375	7,451	75	1.0%
負債純資産合計		10,103	10,332	228	2.3%

●資産の部

- ・現金及び預金が2億71百万円増加
- ・受取手形及び売掛金が1億96百万円増加
- ・有形固定資産が92百万円減少
- ・破産更生債権等が31億90百万円減少
- ・貸倒引当金が30億98百万円減少

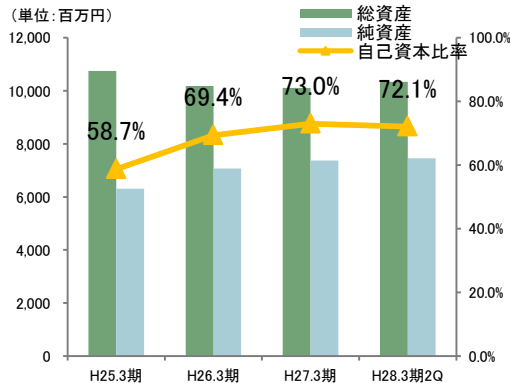
●負債の部

- ・支払手形及び買掛金が3億5百万円増加
- ・未払法人税等が79百万円減少
- ・繰延税金負債が23百万円減少

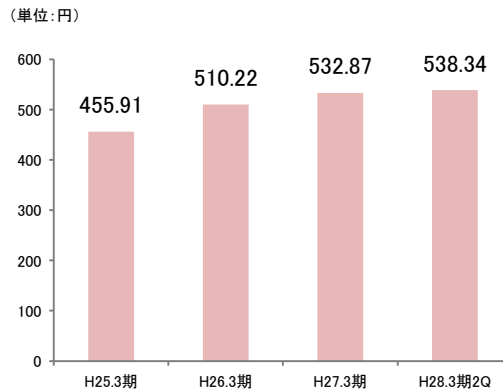
●純資産の部

- ・利益剰余金が1億15百万円増加
- ・自己資本比率が0.9ポイント低下

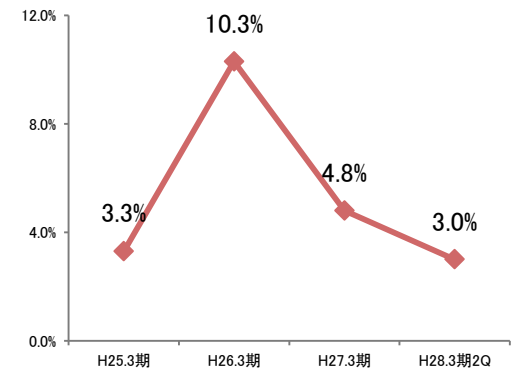
自己資本比率



1株当たり純資産



自己資本当期利益率(ROE)



(単位:百万円)

	平成27年3月期 第2四半期		平成28年3月期 第2四半期		増減額	増減率
		売上比		売上比		
売上高	4,879	100.0%	5,393	100.0%	513	10.5%
売上原価	3,868	79.3%	4,408	81.7%	540	14.0%
売上総利益	1,010	20.7%	984	18.3%	△26	△2.6%
販売費及び 一般管理費	752	15.4%	764	14.2%	11	1.6%
営業利益	258	5.3%	219	4.1%	△38	△14.9%
経常利益	266	5.5%	229	4.3%	△36	△13.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	310	6.4%	225	4.2%	△84	△27.2%

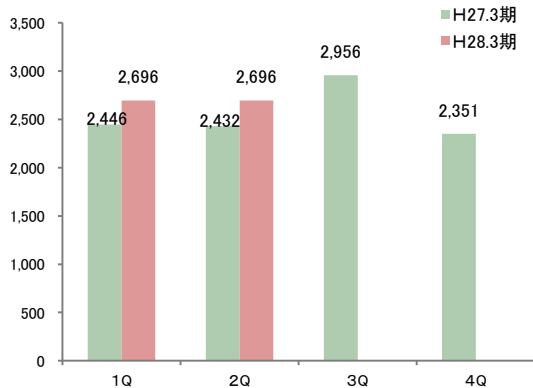
●売上高

- ・前年同期比10.5%増加
- ・工業用コーヒー:主要取引先における取扱数量が低調に推移
- ・業務用コーヒー:カフェチェーンなどにおける取扱数量が好調に推移
- ・家庭用コーヒー:NB・PB製品販売を中心に取扱数量が好調に推移

●営業利益

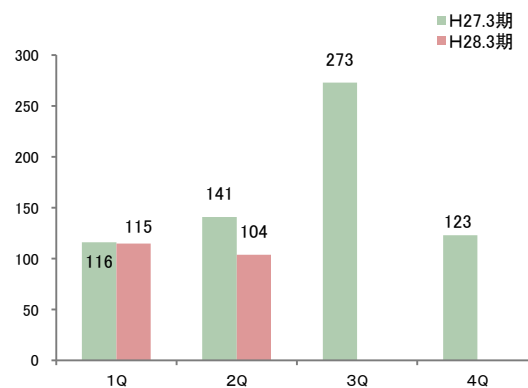
- ・前年同期比14.9%減少
- ・原料コスト上昇に見合った販売価格への転嫁遅れ
- ・取扱数量減少に伴い固定費の負担割合が増加
- ・販売費及び一般管理費が増加

売上高



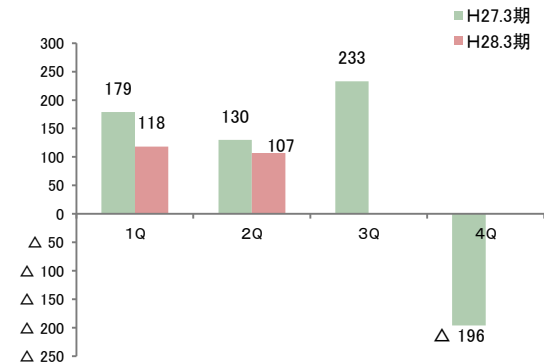
(単位:百万円)

営業利益



(単位:百万円)

親会社株主に帰属する四半期純利益



(単位:百万円)

	平成27年3月期 第2四半期 累計	平成27年3月期 第2四半期 累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△33	419	452
投資活動によるキャッシュ・フロー	△199	△39	159
財務活動によるキャッシュ・フロー	△113	△111	2
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	3	11
現金及び現金同等物の増減額	△354	271	626
現金及び現金同等物の期首残高	2,111	2,484	372
現金及び現金同等物の期末残高	1,757	2,755	998

増減の主な要因

●営業活動によるキャッシュ・フロー

前連結会計年度末と比較

- ・税金等調整前四半期純利益 2億29百万円
- ・売上債権の増加 1億95百万円
- ・たな卸資産の増加 15百万円
- ・仕入債務の増加 3億5百万円
- ・減価償却費 1億41百万円

●投資活動によるキャッシュ・フロー

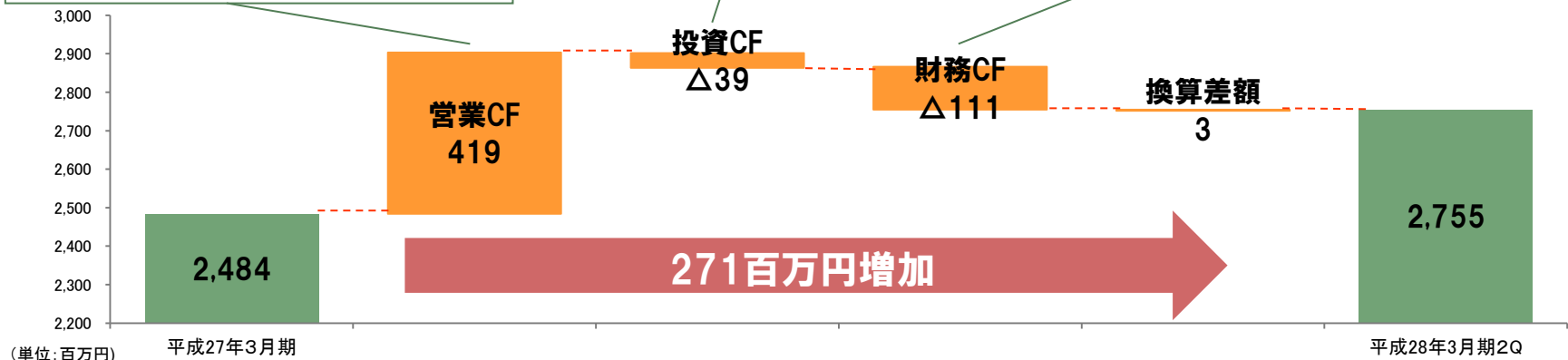
前連結会計年度末と比較

- ・有形固定資産の取得 39百万円

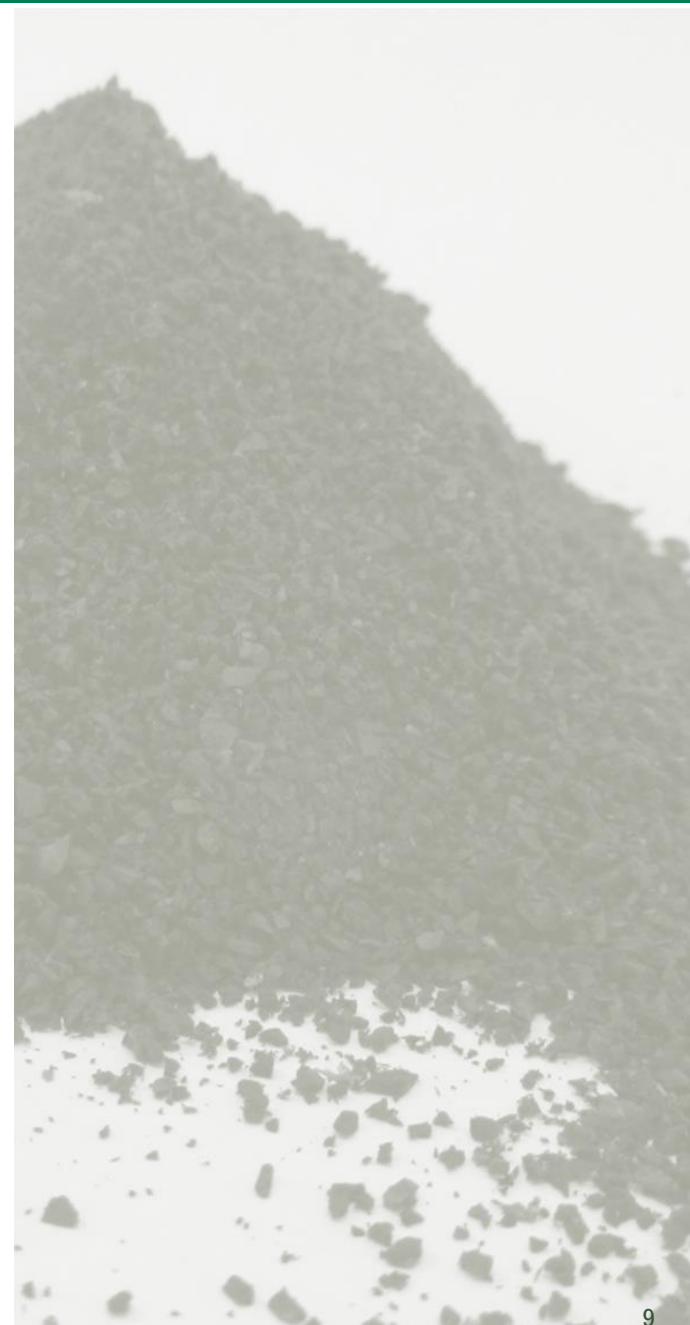
●財務活動によるキャッシュ・フロー

前連結会計年度末と比較

- ・配当金の支払額 1億10百万円



III. 平成28年3月期 第2四半期決算詳細

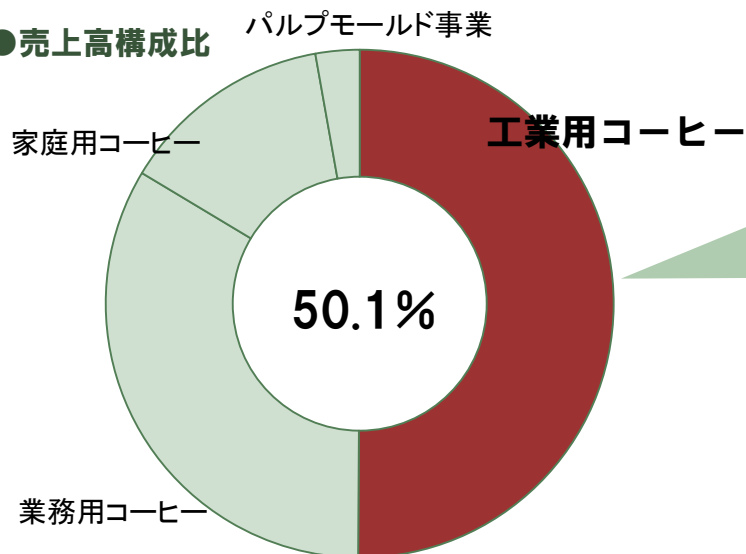


工業用コーヒー

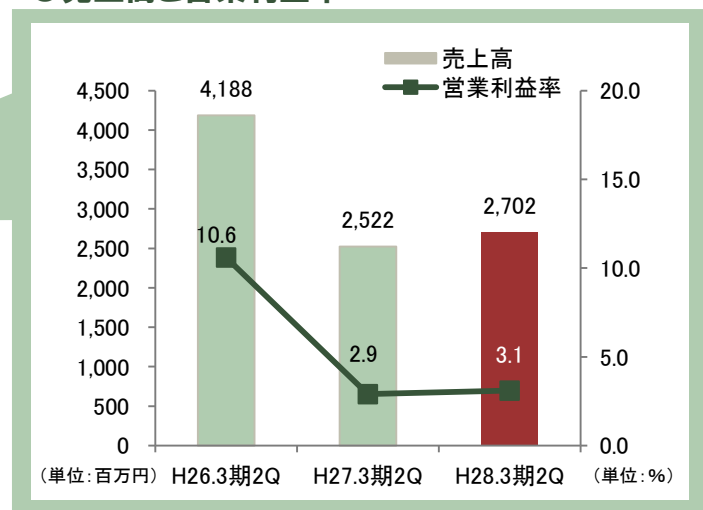
▶ 原料コストが上昇するも固定費の負担割合が減少したため営業利益率は横ばい

	平成27年3月期 第2四半期		平成28年3月期 第2四半期		増減額	増減率
		構成比		構成比		
売上高 (単位:百万円)	4,879	100.0%	5,393	100.0%	513	10.5%
工業用コーヒー	2,522	51.7%	2,702	50.1%	180	7.2%
業務用コーヒー	1,673	34.3%	1,803	33.5%	130	7.8%
家庭用コーヒー	548	11.2%	735	13.6%	187	34.1%
パルプモールド事業	135	2.8%	150	2.8%	15	11.8%

●売上高構成比



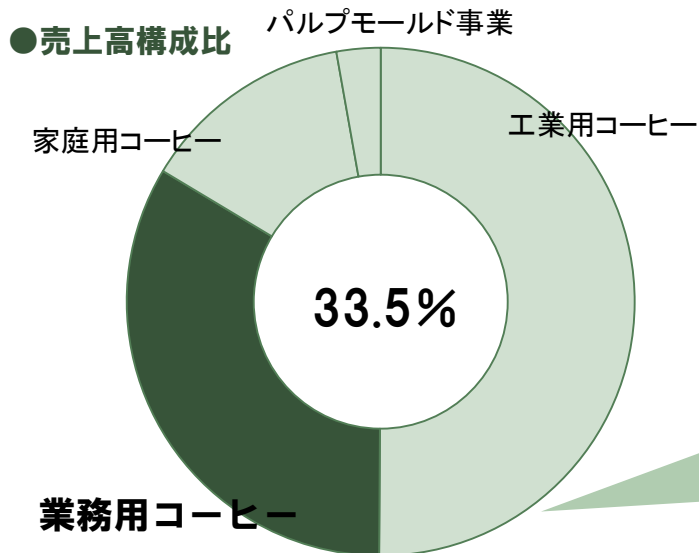
●売上高と営業利益率



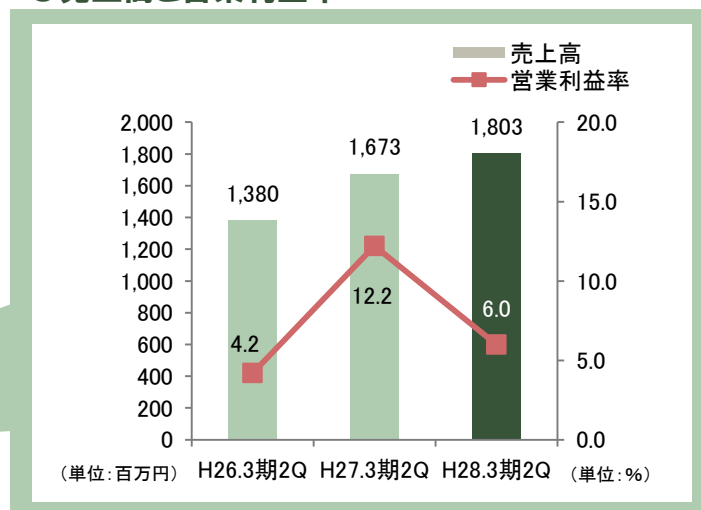
業務用コーヒー

- ▶ 売上高増加するも、原料コスト上昇に見合った販売価格への転嫁遅れ及び固定費の負担割合の増加により営業利益率が低下

	平成27年3月期 第2四半期		平成28年3月期 第2四半期		増減額	増減率
		構成比		構成比		
売上高 (単位:百万円)	4,879	100.0%	5,393	100.0%	513	10.5%
工業用コーヒー	2,522	51.7%	2,702	50.1%	180	7.2%
業務用コーヒー	1,673	34.3%	1,803	33.5%	130	7.8%
家庭用コーヒー	548	11.2%	735	13.6%	187	34.1%
パルプモールド事業	135	2.8%	150	2.8%	15	11.8%



●売上高と営業利益率

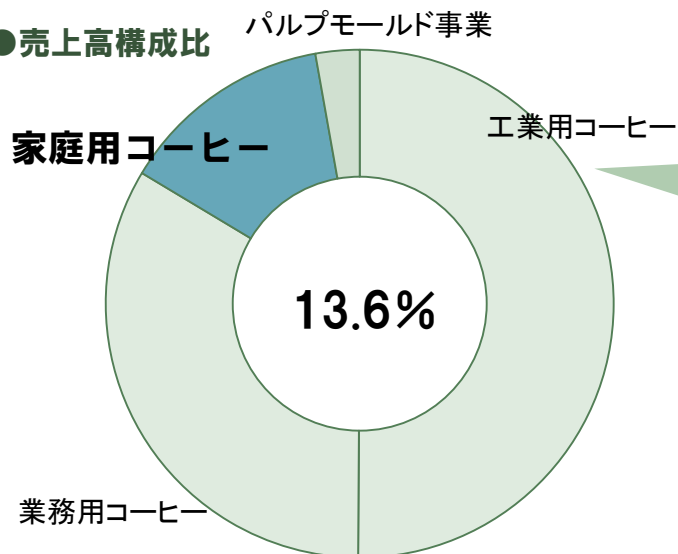


家庭用コーヒー

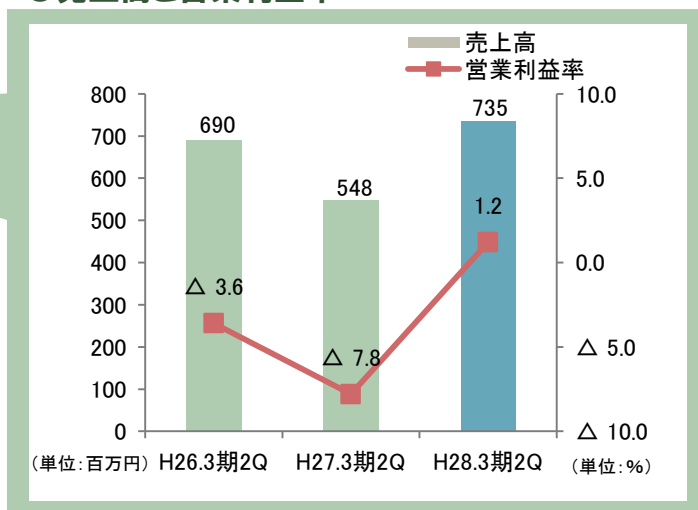
- ▶ NB・PB製品販売を中心に主要取引先における取扱数量が増加
- ▶ 間接部門の業務効率化により営業利益率が改善

	平成27年3月期 第2四半期		平成28年3月期 第2四半期		増減額	増減率
		構成比		構成比		
売上高 (単位:百万円)	4,879	100.0%	5,393	100.0%	513	10.5%
工業用コーヒー	2,522	51.7%	2,702	50.1%	180	7.2%
業務用コーヒー	1,673	34.3%	1,803	33.5%	130	7.8%
家庭用コーヒー	548	11.2%	735	13.6%	187	34.1%
パルプモールド事業	135	2.8%	150	2.8%	15	11.8%

●売上高構成比



●売上高と営業利益率

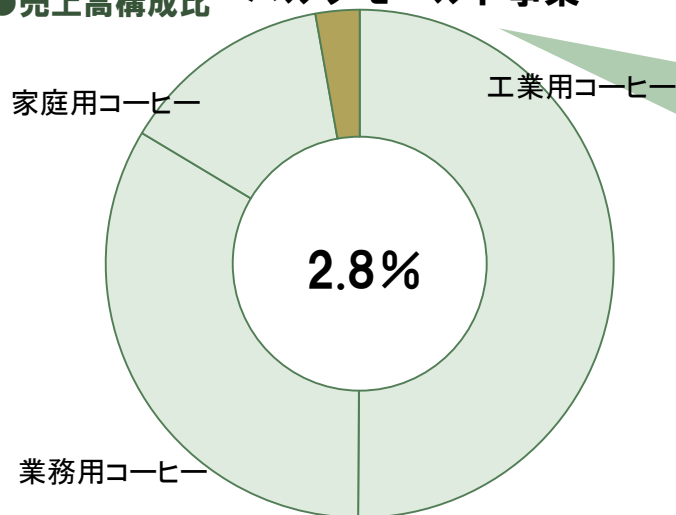


パルプモールド事業

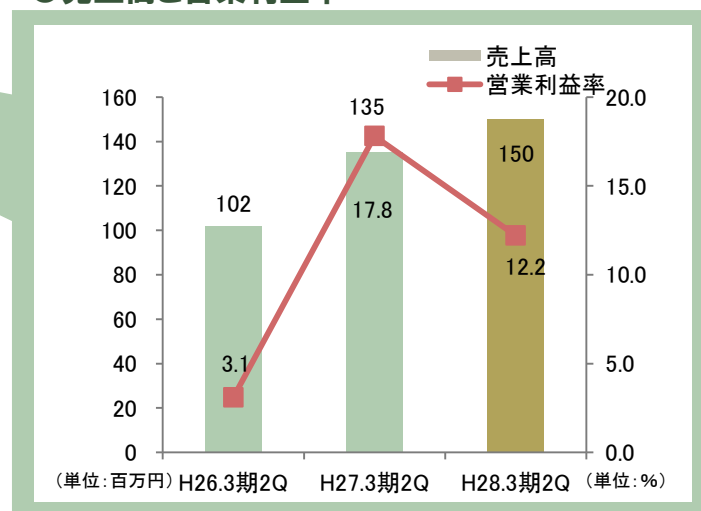
▶ 原料コスト及び人件費の上昇による営業利益率の低下

	平成27年3月期 第2四半期		平成28年3月期 第2四半期		増減額	増減率
		構成比		構成比		
売上高 (単位:百万円)	4,879	100.0%	5,393	100.0%	513	10.5%
工業用コーヒー	2,522	51.7%	2,702	50.1%	180	7.2%
業務用コーヒー	1,673	34.3%	1,803	33.5%	130	7.8%
家庭用コーヒー	548	11.2%	735	13.6%	187	34.1%
パルプモールド事業	135	2.8%	150	2.8%	15	11.8%

●売上高構成比 パルプモールド事業



●売上高と営業利益率



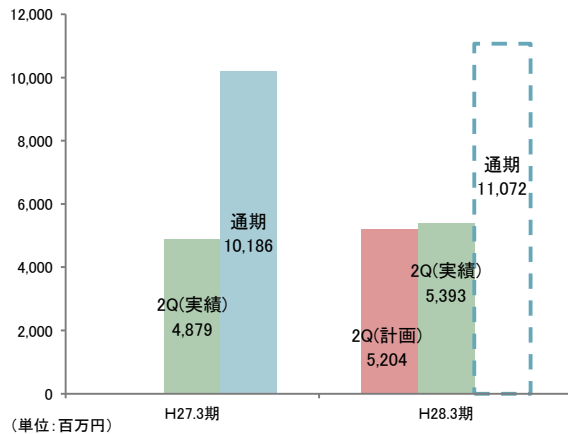
IV. 平成28年3月期 下期の事業環境・取り組み



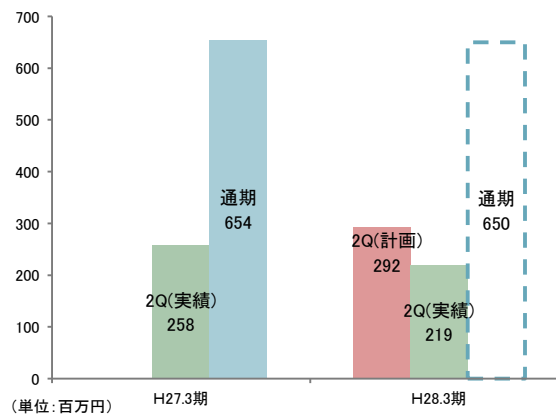
(単位:百万円)

	平成27年3月期 実績		平成28年3月期 計画・実績・予想				対通期 進捗率
	第2四半期	通期	第2四半期 (計画)	第2四半期 (実績)	計画比	通期(予想)	
売上高	4,879	10,186	5,204	5,393	103.6%	11,072	48.7%
営業利益	258	654	292	219	75.1%	650	33.8%
経常利益	266	672	301	229	76.2%	669	34.3%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	310	346	233	225	96.9%	524	43.1%

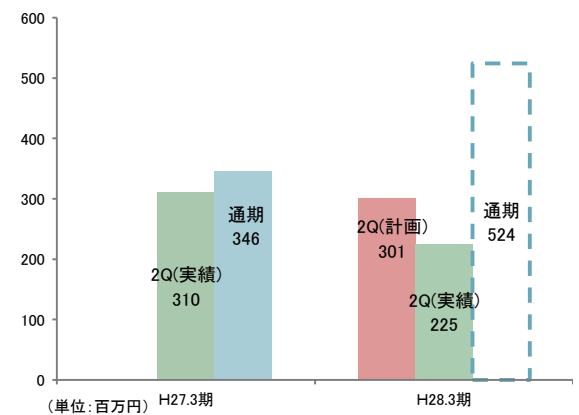
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



レギュラーコーヒー市場活況も不透明感が強い経営環境が続くと想定

コーヒー関連事業

- ・ 工業用コーヒー市場：SOT缶は減少傾向もボトル缶が伸長し横ばい
- ・ 業務用・家庭用コーヒー市場：レギュラーコーヒーブームの追い風を受け拡大

パルプモールド事業

- ・ 中国国内の最低賃金上昇による人件費の増加

コーヒー相場・為替

- ・ 天候不順等による原材料価格・為替の急激な変動懸念

コーヒー関連事業

◆量的優位性の追求

- 工業用コーヒー

主要取引先の取扱数量の拡大による
売上高増加と営業利益率の維持

◆質的優位性の追求

- 業務用コーヒー

新たな提供先拡大による売上高増加と
営業利益率の回復

- 家庭用コーヒー

一杯抽出型商材などの高付加価値品の継続投入
による売上高増加及び通期営業利益の確保

V. 參考資料

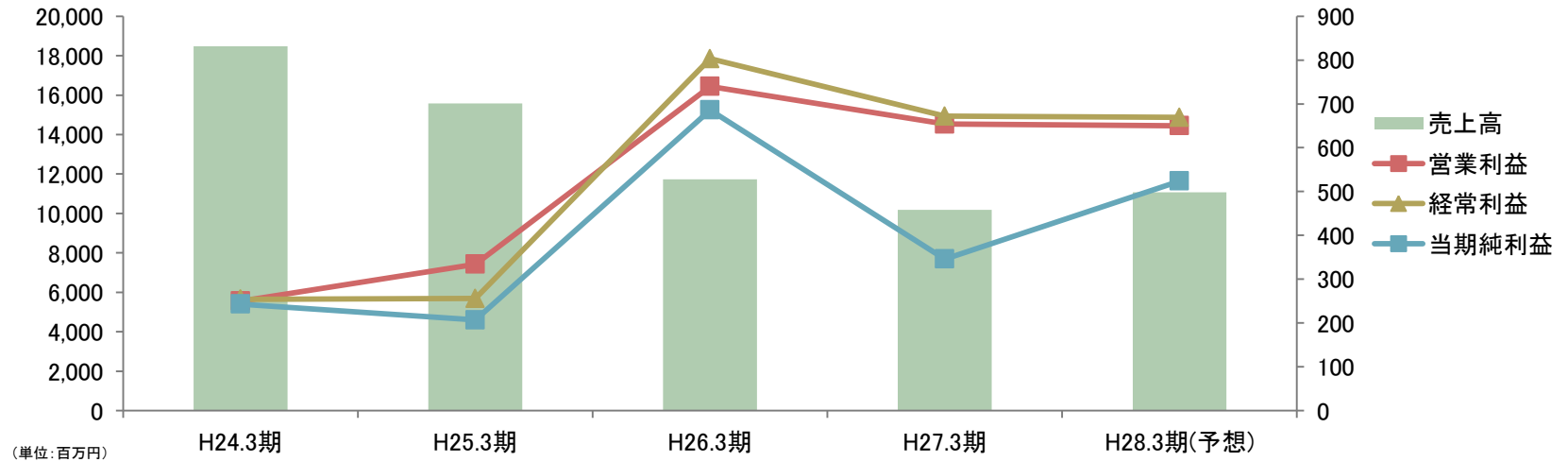


	平成26年 3月期	平成27年 3月期	平成28年 3月期 (予想)
収益性・効率性に関する指標			
EBITDA(百万円)	977	946	924
EBITDAマージン(%)	8.3	9.3	8.3
フリー・キャッシュ・フロー(百万円)	218	474	659
ROE(%) ※当社に帰属する当期純利益÷自己資本	10.3	4.8	7.2
安全性に関する指標			
自己資本比率(%) ※ 自己資本÷総資産	69.4	73.0	70.6
D/Eレシオ(倍) ※有利子負債÷自己資本	0.07	0.06	0.06
有利子負債/EBITDA倍率(倍)	0.47	0.49	0.50
株式価値に関する指標			
EPS(円) ※1株当り当社に帰属する当期純利益	49.61	25.04	37.87
PER(倍) ※時価総額÷当社に帰属する当期純利益	12.92	37.13	22.9
PBR(倍) ※時価総額÷自己資本	1.33	1.78	1.64
配当性向(%)	16.1	31.9	21.1
配当利回り(%) 年間配当金額÷期末株価	1.3	0.9	0.9
時価総額(百万円) 期末株価 × 発行済株式数 (自己株式除く)	8,872	12,872	12,014
期末株価(円)	641	930	868

- ROEの計算に使用している自己資本は前期末と当期末の平均値
- 平成28年3月期(予想)の期末株価は平成27年9月末終値

(単位:百万円)

	平成24年 3月期	平成25年 3月期	平成26年 3月期	平成27年 3月期	平成28年 3月期 第2四半期	平成28年 3月期 (予想)
売上高	18,476	15,580	11,731	10,186	5,393	11,072
営業利益	250	334	740	654	219	650
経常利益	254	256	803	672	229	669
親会社株主に帰 属する当期純利益	243	207	686	346	225	524



免責事項

本資料に記載の内容は、過去及び現在の事実に関するものを除き、当社が現時点で入手可能な情報及び仮説に基づいて判断されたものであり、当該仮説や判断に含まれる不確定要素や、将来の経済環境の変化等により影響を受ける可能性があり、結果として当社および当社グループの将来の業績と異なる可能性があります。

なお、本資料における将来情報に関する記述は上記のとおり本資料の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

また、本資料に記載されている当社ないし当グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

インサイダー取引に関するご注意

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(金融商品取引法166条)。

同法施行令第30条等の定めにより、二つ以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または金融証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービスおよびEDINET公開WEBサイト)により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。